

日本自然保護協会

日本自然保護協会2003 (平成15) 年度事業報告

(2004年4月28日評議員会同意・同5月31日定例理事会承認)

2003 (平成15) 年度財団法人の記録

1. 役員等の異動

(1) 退任

理事 千地 万造 (2003年9月24日)

(2) 役職退任

常務理事 原田 隆 (2003年4月30日)

常務理事 吉田 正人 (2004年3月31日)

(3) 逝去

顧問 池ノ上 容 (2003年4月18日)

2. 会員数 2004年3月31日現在 () 内は昨年度比

(1) 普通会员

個人会員 13,702人 (+56人)

ファミリー会員 3,201人 (-12人) 1家族3人計算

ユース会員 201人 (+110人)

(2) 団体会員 902口 / 409団体 (-136口 / -37団体)

(3) 賛助会員 81口 / 34法人 (-17口 / -4法人)

(4) 寄付サポーター 1,344人 (-27人)

(5) アクションサポーター 2,538人 (+22人)

 合計 21,969人・口 (-4人・口)

3. 会議

(1) 評議員会・理事会

定例評議員会・定例理事会（5/28） / 2002年度事業報告および同収支決算（同意、議決）、第3回日本自然保護協会沼田眞賞の応募期間延長（報告）、大口指定寄付について（報告）、事務局長について（報告）、職員表彰（報告）

(2) 理事会

臨時理事会（10/1） / 第3回日本自然保護協会沼田眞賞授賞者の決定（了承）、大口指定寄付を活用したオフィス環境の改善および基本財産の運用のあり方（検討）、2003年度収支の経過状況（報告）

臨時理事会（3/3） / 2003年度補正予算（議決）、2004年度事業計画素案および同収支予算素案（検討）、新評議員候補者の選任方法（検討）、第4回日本自然保護協会沼田眞賞の募集（報告）

定例理事会（3/29） / 2004年度事業計画および同収支予算（議決）、新評議員候補者の選任（議決）、資産運用方法の改訂に伴う資産運用管理規定・基準の制定（議決）、新事務局体制の検討状況（報告）、2003年度収支決算見込（報告）

(3) 評議員会

書面表決（2/13） / 2003年度補正予算案（同意）

定例評議員会（3/15） / 2003年度補正予算（追認同意）、2004年度事業計画案および収支予算案（同意）、資産運用の改善に関する検討状況（報告）、オフィス環境の改善に関する検討状況（報告）

(4) 参与会議

NACS-Jの活動と地域との連携に関する意見交換（3/15）

(5) 小委員会

（総合プロジェクト）

赤谷プロジェクト準備会議（4/18、5/27、7/24）

AKAYAプロジェクト企画運営会議（11/21、3/18）

AKAYAプロジェクト（協定締結）調整会議（3/30）

至仏山環境共生事業・作業委員会（4/22、5/6、5/30、6/8、9/12、10/22、11/4、2/5）

至仏山環境共生事業・（専門委員会合同）作業委員会（6/21、10/16、2/20）

至仏山環境共生事業・（東京電力・植生検討会合同）作業委員会（11/7）

（保護研究事業）

泡瀬干潟自然環境調査委員会（7/25）
生態系総合モニタリング調査委員会（7/14、1/22）

（普及広報事業）

自然観察指導員養成講師会議（2/29）

（その他）

第3回日本自然保護協会沼田眞賞選考委員会（7/8）
第4回日本自然保護協会沼田眞賞運営委員会（3/3）

4.意見書等の公表

(1) 意見書・要望書等（代表者名で提出）

普天間飛行場代替施設建設に係る現地技術調査に対する意見書
（4/17、環境大臣）
中城湾泡瀬地区「環境監視・検討委員会」に対する意見
（5/29、沖縄県総合事務局長、沖縄県土木建築部長）
早池峰地域の保護と利用に関する提言（6/5、環境大臣、岩手
県知事）
特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律案
に対する要望書（3/9、環境大臣）
球磨川・川辺川合流点付近に生息する希少淡水産紅藻類の保全
に関する要望書（3/22、環境大臣、国土交通大臣、文化庁長
官、熊本県知事、人吉市長、錦町長、相良村長）
海上の森の長期的保全策と県道計画の見直しに関する要望書
（3/25、愛知県知事）

(2) 声明・コメント等（担当責任者名で提出）

宮崎県綾町の照葉樹林保全と送電線建設計画に対する緊急声明
（6/12、九州電力(株)代表取締役社長）
中城湾港泡瀬地区環境監視委員会および環境保全・創造検討委
員会委員有志による事業者への意見（8/4、内閣府沖縄総合事
務局開発建設部長、沖縄県土木建築部長、港湾空間高度化環境
研究センター理事長）
「移入種対策に関する措置の在り方について（中間報告）」に
対する意見（11/5、環境省自然環境局野生生物課）
国有林野の管理経営に関する基本計画案についてのパブリック
コメント（11/30、林野庁）
中城湾港泡瀬地区埋立事業海草移植実験における土嚢補修工事
およびその検討のあり方についての意見（12/4、沖縄総合事務

局開発建設部長ほか）

吉野川河口干潟の保全と東環状道路橋の建設に対する見解

（12/8、徳島県知事、WWFジャパンとの共同）

「国立・国定公園内における風力発電施設設置のあり方に関する基本的な考え方（概要案）」に対する意見（2/4、環境省自然環境局国立公園課）

泡瀬干潟・仮設橋梁工事着工に対する抗議声明（2/13、WWFジャパン・日本野

鳥の会との共同）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律案に対するNGOからの要望書（3/1、自民党環境部会部会長、公明党環境部会長、WWFジャパン・日本野鳥の会・地球生物会議との共同）

5.委員の派遣（ ）内は要請主体

自然再生専門家会議（環境省、農林水産省、国土交通省、継続）

野生鳥獣保護管理検討会（環境省、継続）

国立公園指定動物保護対策検討会（環境省、継続）

尾瀬シカ対策アドバイザー会議（環境省、継続）

世界自然遺産候補地に関する検討会（環境省、林野庁）

エコツーリズム推進会議・幹事会（環境省、継続）

緑の回廊モニタリング検討委員会（林野庁、継続）

クマタカ等保護と森林施業等との共生に関する調査研究に係る検討委員会（林野庁関東森林管理局、継続）

小笠原国有林モニタリング計画案検討委員会（林野庁関東森林管理局）

沖縄本島北部国有林の取り扱いに関する検討委員会（林野庁九州森林管理局、継続）

淀川水系流域委員会（国土交通省近畿地方整備局、継続）

三番瀬再生計画検討会議（千葉県）

ちば環境再生推進委員会（同委員会）

東京都鳥獣害対策委員会（東京都）

東京都環境保全推進委員会（東京都）

長野県希少野生動植物保護対策検討委員会（長野県）

奄美群島重要生態系地域調査学術検討会（鹿児島県）

中城港湾泡瀬地区環境監視委員会（内閣府沖縄総合事務局開発建設部、沖縄県土木

建築部、港湾空間高度化環境研究センター）

自然公園における生態系特定管理施策検討調査会（国立公園協会）

小笠原国立公園植生回復調査検討会（自然環境研究センター、継続）

モニタリングサイト1000ワーキンググループ（自然環境研究センター）

環境NGO活動推進委員会（環境事業団）

至仏山緊急保全対策会議（尾瀬保護財団、継続）

鳥類標識調査検討会（山階鳥類研究所、継続）

海上地区会場計画モニタリング委員会 (2005年日本国際博覧会協会、継続)

八ヶ岳植生保全管理方針検討会 (八ヶ岳高原ロッジ、継続)

6.印刷物の発行

(1) 会報『自然保護』

年6回・奇数月発行 (第473号～第478号)、各約18,000部、全号40頁
(カラー24頁、モノクロ16頁)

(2) 報告書・資料集

報告書94号『川辺川ダム計画と球磨川水系の既設ダムがその流域と八代海に与える影響』(10月)

資料集44号『愛知万博の環境アセスメントを検証する～21世紀のアセスメントへの提言』(4月)

『泡瀬干潟シンポジウム報告書～世界の宝 泡瀬干潟を未来の子どもたちに引きつぐために』(9月、WWFジャパン、日本野鳥の会共同)

(3) ビデオ

『ありあけ・いさはや、宝の海のメカニズム』(5月、有明海漁民・市民ネットワーク、諫早干潟緊急救済東京事務所共同)

(4) 出版

『生態学からみた野生生物の保護と法律』(11月、講談社サイエンティフィック)

(5) パンフレット

個人会員入会案内パンフレット (34,000部)

NACS-J自然保護寄付パンフレット (20,000部)